

備考

1. 事業仕分け

- ①実施年月日…平成22年10月28日
- ②事業番号…A-9
- ③評価結果…<枠組みのあり方(主体・区分経理)>
新たな制度設計の中であり方を検討
<資金のあり方(積立金の取扱い)>
新たな制度設計の中であり方を検討(年金制度の持続性や年金財政についての正直な現状分析に立って議論すべき)

2. 提言型政策仕分け

- ①実施年月日…平成23年11月23日
- ②事業番号…B5-5
- ③評価結果…現役世代を含む次世代に負担を先送りせず、将来も持続可能な年金制度とするためには、まずは年金の特例水準を来年度から速やかに解消していくべき。制度を長続きさせるための取組について理解を求めるためにも、人口構成、賃金、金利などの前提について、厚生労働省は、現実から目をそむけることなく、現状をもっと速やかにかつ的確に把握する仕組みを導入するとともに、その分析過程・結果をわかりやすく国民にオーブンにすること。このため、年金財政計算のあり方については、社会保障審議会年金部会の検討スケジュールを明確化し、改革のロードマップについて行政刷新会議にも報告すること。なお、一体改革成案に沿って、低所得者の年金の拡充も行うべき。
- ④対応状況…特例水準については、平成25年度～平成27年度において解消された。

関連する過去のレビュー・シートの事業番号

平成22年度	-	平成23年度	731	平成24年度	645	
平成25年度	795	平成26年度	797	平成27年度	808	
平成28年度	774					

※平成28年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行つ
ているかについ
て補足する)
(単位：百万円)

厚生労働省

(国民年金法に基づく、老齢、障害又は死亡に関して必要な給付の支払)

平成28年度執行額は集計中

A. 年金受給者

